

I. 健診受診者状況

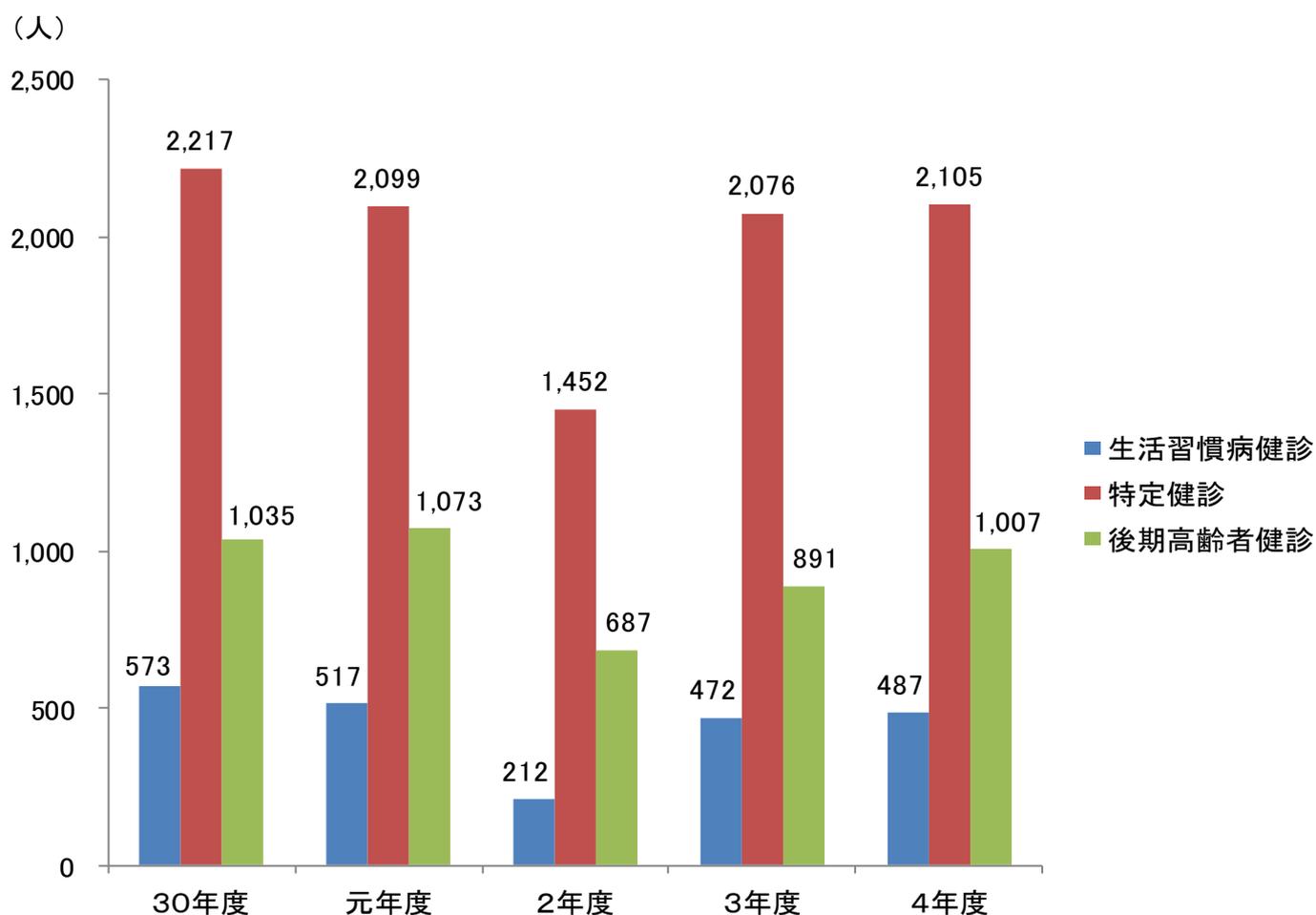
1. 菊池市

1) 住民健診

今年度は、住民健診(生活習慣病健診・特定健診・後期高齢者健診)とがん検診を同時に実施した。がん検診の項目・対象年齢及び、送迎バスについても例年どおりの実施であったが、新型コロナウイルス感染症対策として密を避ける為、住民健診や肺がん検診等、本組合だけで実施できる健診項目のみを希望した方については、複合健診日以外の日程で案内した。

今年度の受診者数は、増加傾向にある。

図1. 年度別受診者数推移(各種健診)



2) 菊池市がん検診 年度別実績

各種がん検診受診者数は、腹部超音波検診・乳房マンモグラフィ検診以外の検診において、減少傾向にある。

●胃がん検診

(人)

年度年齢	30年度			元年度			2年度			3年度			4年度		
	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数
～39歳	101	87	2	90	83	3				86	78	3	55	80	8
40～44歳	42	51	1	48	51	2	14	33	1	48	75	3	51	49	4
45～49歳	40	41	2	35	38	2	18	21	1	48	39	4	43	39	0
50～54歳	41	54	3	40	46	1	24	22	1	44	40	0	33	40	3
55～59歳	37	61	6	27	43	2	22	24	0	34	42	3	41	43	2
60～64歳	85	97	7	66	92	2	36	42	4	73	81	11	68	67	3
65～69歳	152	103	10	138	100	9	76	80	16	155	120	8	131	104	8
70～74歳	138	106	12	148	100	10	99	64	11	163	95	15	151	107	7
75～79歳	86	31	9	86	44	9	63	30	6	81	46	3	104	42	3
80歳～	25	14	1	29	15	3	8	5	0	29	15	0	25	7	1
小計	747	645	53	707	612	43	360	321	40	761	631	50	702	578	39
合計	1,392		53	1,319		43	681		40	1,392		50	1,280		39

●腹部超音波検診

(人)

年度年齢	30年度			元年度			2年度			3年度			4年度		
	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数
～39歳	215	361	6	201	354	2				182	306	3	152	308	5
40～44歳	76	155	5	75	140	1				87	157	3	91	159	4
45～49歳	62	139	3	60	149	6				77	130	2	75	145	2
50～54歳	73	160	5	70	141	1				70	134	4	60	126	2
55～59歳	75	237	7	56	196	2				51	155	2	63	164	6
60～64歳	162	352	8	146	342	9				131	287	8	123	274	7
65～69歳	323	469	18	280	429	9				268	401	10	247	399	13
70～74歳	331	466	18	318	466	11				341	447	13	344	488	21
75～79歳	284	319	14	245	334	13				188	276	12	253	318	22
80歳～	216	263	18	241	259	19				218	206	14	230	231	11
小計	1,817	2,921	102	1,692	2,810	73	0	0	0	1,613	2,499	71	1,638	2,612	93
合計	4,738		102	4,502		73	0		0	4,112		71	4,250		93

●大腸がん(便潜血)検診

(人)

年度年齢	30年度			元年度			2年度			3年度			4年度		
	男性	女性	要精密者数												
～39歳	116	195	19	100	191	19				95	158	12	57	148	12
40～44歳	78	155	13	73	158	12	99	124	12	64	128	16	72	142	9
45～49歳	54	104	8	54	99	14	26	72	4	70	102	5	69	119	8
50～54歳	65	112	11	66	105	12	39	66	5	61	106	11	57	106	7
55～59歳	64	170	11	49	145	16	35	106	6	58	122	11	61	118	7
60～64歳	144	305	25	113	297	25	61	187	15	115	256	28	109	241	22
65～69歳	295	392	50	277	379	43	172	268	30	259	355	33	209	337	19
70～74歳	287	378	39	279	373	57	212	313	41	325	377	54	310	382	44
75～79歳	202	239	39	191	249	41	120	159	33	176	219	39	209	252	28
80歳～	183	220	41	205	198	44	155	164	33	199	176	49	170	188	30
小計	1,488	2,270	256	1,407	2,194	283	919	1,459	179	1,422	1,999	258	1,323	2,033	186
合計	3,758		256	3,601		283	2,378		179	3,421		258	3,356		186

●乳房マンモグラフィ検診

(人)

年度年齢	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度	
	女性	要精密者数								
～39歳										
40～44歳	119	4	132	7	95	4	118	4	121	5
45～49歳	94	4	106	5	68	3	84	1	87	2
50～54歳	111	3	97	2	82	2	98	5	92	3
55～59歳	150	2	133	3	92	3	105	3	97	1
60～64歳	202	7	182	7	142	3	164	5	169	5
65～69歳	240	1	246	6	241	4	227	9	269	11
70～74歳	190	6	219	7	231	2	232	2	266	7
75～79歳	137	2	151	3	136	4	136	2	183	1
80歳～	77	1	81	3	69	1	78	1	111	0
合計	1,320	30	1,347	43	1,156	26	1,242	32	1,395	35

●乳房超音波検診

(人)

年度年齢	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度	
	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数
～39歳	533	5	505	4			415	2	402	1
40～44歳	100	1	74	1			91	1	71	0
45～49歳	75	3	61	0			68	1	74	0
50～54歳	83	1	79	0			55	0	54	0
55～59歳	100	0	100	0			89	0	72	0
60～64歳	162	1	179	1			142	1	100	0
65～69歳	238	2	196	1			208	0	152	0
70～74歳	253	2	226	3			224	1	215	2
75～79歳	160	2	158	1			125	0	113	0
80歳～	125	0	122	1			100	0	87	1
合計	1,829	17	1,700	12	0	0	1,517	6	1,340	4

●子宮頸がん検診

(人)

年度年齢	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度	
	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数
～39歳	291	6	260	7	89	1	219	3	227	3
40～44歳	124	10	116	3	68	1	127	1	107	1
45～49歳	100	2	96	1	52	0	93	0	92	2
50～54歳	118	4	102	3	64	1	97	1	88	1
55～59歳	136	0	116	1	63	0	105	1	106	1
60～64歳	207	2	188	2	114	0	172	1	158	0
65～69歳	285	1	249	0	180	1	236	2	235	1
70～74歳	266	1	268	2	188	0	282	2	285	0
75～79歳	162	0	176	0	110	0	161	3	178	0
80歳～	97	0	96	1	52	1	83	1	97	0
合計	1,786	26	1,667	20	980	5	1,575	15	1,573	9

3) 肺がん検診

今年度は前年度より受診者数が減少しているが、結核検診の受診者数が増加していることから、結核検診に受診者が移行したと考えられる。

肺がん検診精検受診率について、昨年度と比較すると2.9%増加し、高い受診率を保っており、許容値を達成している。

しかし、今年度については肺がんが発見されていないため、がん発見率および陽性反応的中度は許容値を達成していない。

比較読影数については過去画像を有するすべての受診者に対して行っており、二重読影で要比較読影となった受診者においても再度比較読影を行っている。

図1. 肺がん検診精検受診率 年次推移

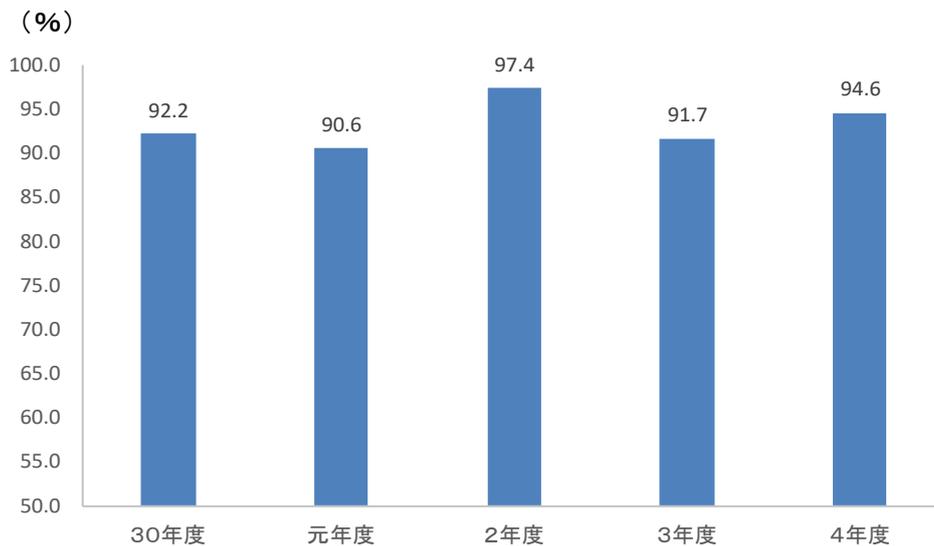


表1 胸部X線及び喀痰検査判定内訳 (人)

	異常なし	軽度異常	経過観察	要精検	治療中	総数
胸部X線	1,924	121	75	74	0	2,194
喀痰検査	36	0	0	0	0	36

表2. 年度別肺がん検診成績

	総数 A(人)	要精検数 B(人)	要精検率 B/A(%)	精検受診数 C(人)	精検受診率 C/B(%)	がん発見数 F(人)	がん疑い数 (人)	がん発見率 F/A(%)	陽性反応 的中度 F/B(%)
30年度	2,514	51	2.03	47	92.2	2	1	0.08	3.92
元年度	2,321	53	2.28	48	90.6	2	0	0.09	3.77
2年度	1,408	38	2.70	37	97.4	1	0	0.07	2.63
3年度	2,320	96	4.14	88	91.7	0	2	0.00	0.00
4年度	2,194	74	3.37	70	94.6	0	0	0.00	0.00
プロセス指標 (許容値)			3.00以下		70.0以上			0.03以上	1.30以上

表3. 年度別喀痰検査実施状況

	喀痰検査 該当者数 G(人)	喀痰検査 実施数 H(人)	喀痰 未提出者数 (人)	提出率 H/G(%)
30年度	29	29	0	100.0
元年度	34	34	0	100.0
2年度	22	22	0	100.0
3年度	24	24	0	100.0
4年度	39	36	0	92.3

4) 結核検診

今年度は前年度と異なり、健診受診方法が例年通りに戻ったことで、受診者数は前年度よりも増加しているが、元年度水準までには戻っていない。昨年度に引き続き今年度も要精検数が例年より多かったため、精検受診率の低下が懸念されたが、大きな落ち込みはなく受診していることがわかる。

がん疑いの者3人のうち1人の返答があり、原発性の扁平上皮がんであった。

図1. 精検受診率 年次推移

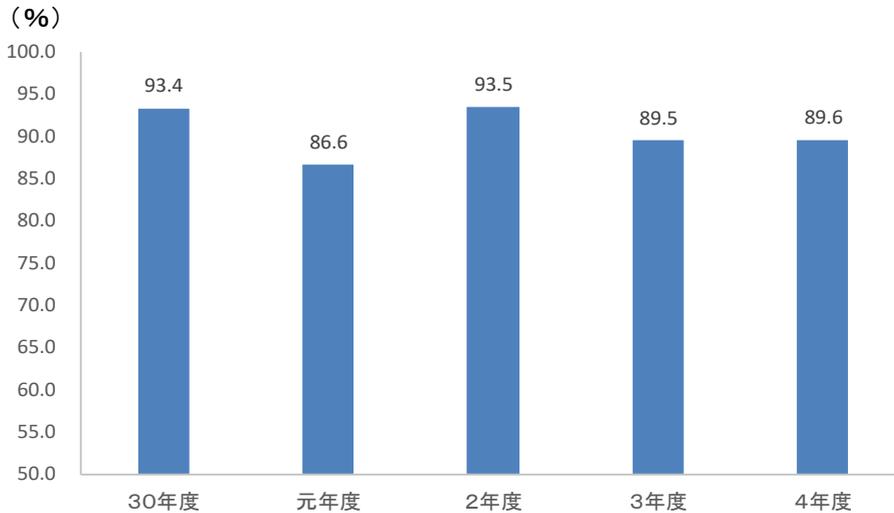


表1. 結核検診 判定内訳

異常なし	軽度異常	経過観察	要精検	治療中	総数
1,353	140	70	96	0	1,659

表2. 結核検診 年度別受診者数

年度		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
65歳以上	検診	1,487	1,597	960	1,398	1,557
	巡回	143	159	308	152	101
	合計	1,630	1,756	1,268	1,550	1,658
65歳未満※	検診	1	0	2	5	1
	巡回	2	1	2	2	0
	合計	3	1	4	7	1
年度総数		1,633	1,757	1,272	1,557	1,659

※65歳未満は自己負担での検査

表3. 結核検診成績

	総数 A(人)	要精検数 B(人)	要精検率 B/A(%)	精検受診数 C(人)	精検受診率 C/B(%)	結核発見数 F(人)	結核発見率 F/A(%)	結核疑い G(人)
30年度	1,633	61	3.74	57	93.4	0	0	0
元年度	1,757	82	4.66	71	86.6	0	0	0
2年度	1,272	62	4.87	58	93.5	0	0	0
3年度	1,557	105	6.76	94	89.5	0	0	0
4年度	1,659	96	5.79	86	89.6	0	0	1

	がん発見数D (人)	がん発見率D /A(%)	がん疑数 E(人)
30年度	2	0.12	2
元年度	3	0.17	1
2年度	1	0.08	1
3年度	1	0.06	3
4年度	1	0.06	2

表4. 発見肺癌病期分類

病期分類	T 原発巣	N 所属 リンパ節	M 遠隔転移
II B	T2a	N1	MO

5) 人間ドック

今年度の日帰りドックの受診者数は、令和3年度と比較すると9人増加した。
また、通院2日ドックについては、1人減少した。

表1. 各種ドック年度別受診者数 (人)

	日帰りドック (1日・ライト)	通院2日ドック	合計	対前年比
30年度	82	2	84	—
元年度	94	2	96	12
2年度	57	0	57	△ 39
3年度	88	2	90	33
4年度	97	1	98	8

表2. 年齢別受診者数 (人)

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
70歳未満	84	74	41	67	70
70歳以上	0	22	16	23	28
合計	84	96	57	90	98

※健診受診日年齢とする。

6) 肝炎ウイルス検査

肝炎ウイルス検査の受診者数は、健診では30年度以降減少傾向にあったが、3年度より増加に転じた。また、二次健診は元年度以降受診者はいない。

表1. 肝炎ウイルス検査 年度及び年齢別受診数 (人)

年齢	肝炎検査									
	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度	
	健診	二次健診	健診	二次健診	健診	二次健診	健診	二次健診	健診	二次健診
40歳	52	0	35	0	14	0	53	0	47	0
41～69歳	28	3	21	3	11	0	8	0	20	0
70歳以上	2	4	3	1	0	0	0	0	2	0
小計	82	7	59	4	25	0	61	0	69	0
合計	89		63		25		61		69	

2. 合志市

1) 住民健診

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、送迎バスを中止した。特定健診と後期高齢者健診の対象者に加えて、生活習慣病健診(国民健康保険加入)の方には、市が希望調査を行い、本組合を希望した方のみ、予約日と予約時間を記載した問診票を郵送した。

受診者数については、昨年度より増加傾向にある。

図1. 年度別受診者数推移(各種健診)

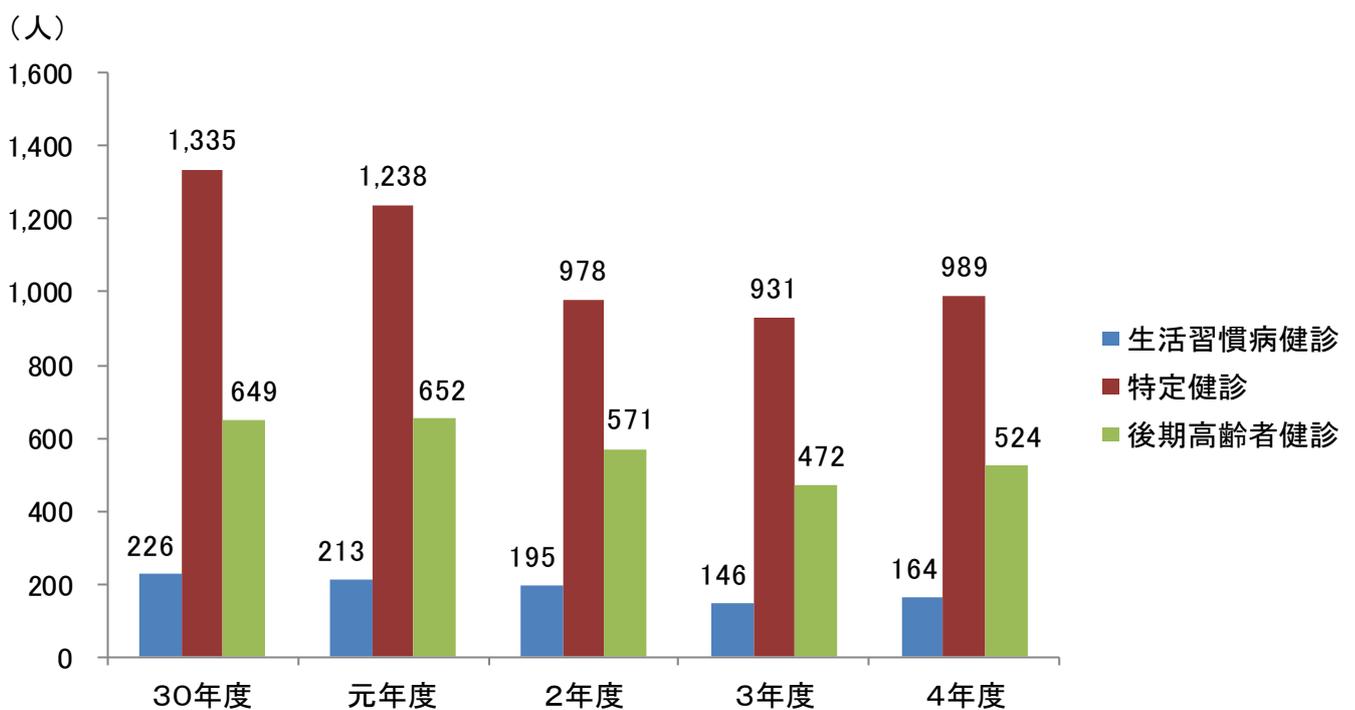


表1. プレミアム健診・子育て世代リフレッシュ健診 (人)

	プレミアム健診	子育て世代リフレッシュ健診 [※]
30年度	35	28
元年度	50	20
2年度	21	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
3年度	33	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
4年度	48	12

※～令和3年度までは、「子育てママリフレッシュ健診」。令和4年度より変更。

2) 胸部レントゲン検査

これまでの結核健診及び肺がん検診に代わり、令和2年度より胸部レントゲン検査として検診が行われるようになった。受診者数は、やや増加傾向にある。

発見がん3人の病期分類の内訳は、I Bが1人、II Bが1人、III Aが1人となっており、今年度発見された早期がんは1人だった。

図1. 胸部レントゲン検査受診者数 年次推移

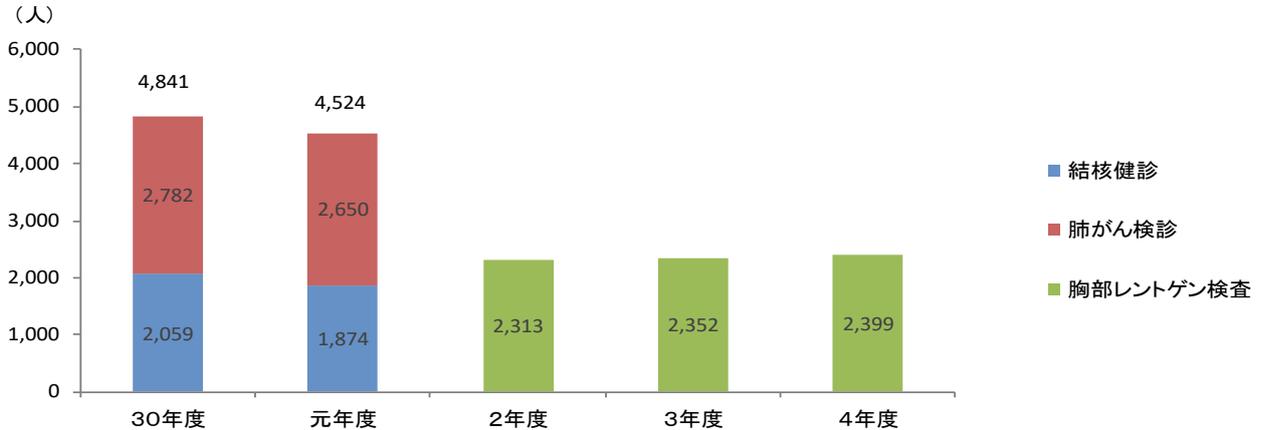


表1. 胸部レントゲン検査及び喀痰検査判定内訳 (人)

	異常なし	軽度異常	経過観察	要精検	治療中	総数
胸部X線	1,936	212	94	157	0	2,399
喀痰検査	1	0	0	0	0	1

表2. 胸部レントゲン検査成績 (令和元年度以前の()内は肺がん検診受診者)

	総数 A(人)	要精検数 B(人)	要精検率 B/A(%)	精検受診数 C(人)	精検受診率 C/B(%)	がん発見数 F(人)	がん疑い数 (人)	がん発見率 F/A(%)	陽性反応 的中度 ※ F/B(%)
30年度	4,841 (2,782)	108 (48)	2.23 (1.73)	94 (44)	87.0 (91.7)	4 (4)	6 (1)	0.08 (0.14)	8.33
元年度	4,524 (2,650)	122 (58)	2.53 (2.23)	114 (54)	91.9 (91.5)	4 (3)	4 (3)	0.09 (0.11)	5.08
2年度	2,313	95	4.11	88	92.6	5	2	0.22	5.26
3年度	2,352	118	5.02	105	89.0	3	7	0.13	2.54
4年度	2,399	157	6.54	141	89.8	3	4	0.13	1.91
プロセス指標 (許容値)			3.00以下		70.0以上			0.03以上	1.30以上

※令和元年度以前は肺がん検診のみで算出

表3. 年度別喀痰検査実施状況

	喀痰検査 該当者数 G(人)	喀痰検査 実施数 H(人)	喀痰 未提出者数 (人)	提出率 H/G(%)
30年度	23	22	1	95.7
元年度	11	11	0	100.0
2年度	0	0	0	0.0
3年度	0	0	0	0.0
4年度	1	1	0	100.0

3) 人間ドック

今年度の日帰りドックの受診者数は、令和3年度と比較すると6人減少した。
また、通院2日ドックについては、横ばい状態となっている。

表1. 各種ドック年度別受診者数 (人)

	日帰りドック (1日・B・ライト)	通院2日ドック	合計	対前年比
30年度	286	4	290	—
元年度	289	4	293	3
2年度	261	7	268	△ 25
3年度	271	5	276	8
4年度	265	5	270	△ 6

表2. 年齢別受診者数 (人)

	日帰りドック			通院2日コース	合計
	標準コース	Bコース	ライトコース		
75歳未満	204	7	9	2	222
75歳以上	44	1	0	3	48

※健診受診日年齢とする。

3. 企業健診

今年度は、自治体の会計年度任用職員に係る保険者変更に伴い、協会けんぽ受診者が減少し、労働安全衛生法に基づく定期健康診断が増加している。

胃がん検診状況は、胃内視鏡受診者数は増加しているが、胃バリウム受診者数は減少し、全体の未受診率も増加している。

表1.企業健診受診者数

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	対前年比
生活習慣病予防健診 (協会けんぽ)	5,018	5,275	5,387	5,654	5,229	△ 425
代行機関企業健診 被扶養者健診	544	546	336	465	391	△ 74
労働安全衛生法に基 づく定期健康診断	4,270	4,310	4,226	4,356	4,654	298
ホンダ健康保険組合健診	501	515	545	534	506	△ 28
深夜業務健診	967	1,010	968	985	1,132	147
総数	11,300	11,656	11,462	11,994	11,912	△ 82

図1.年度別受診者数

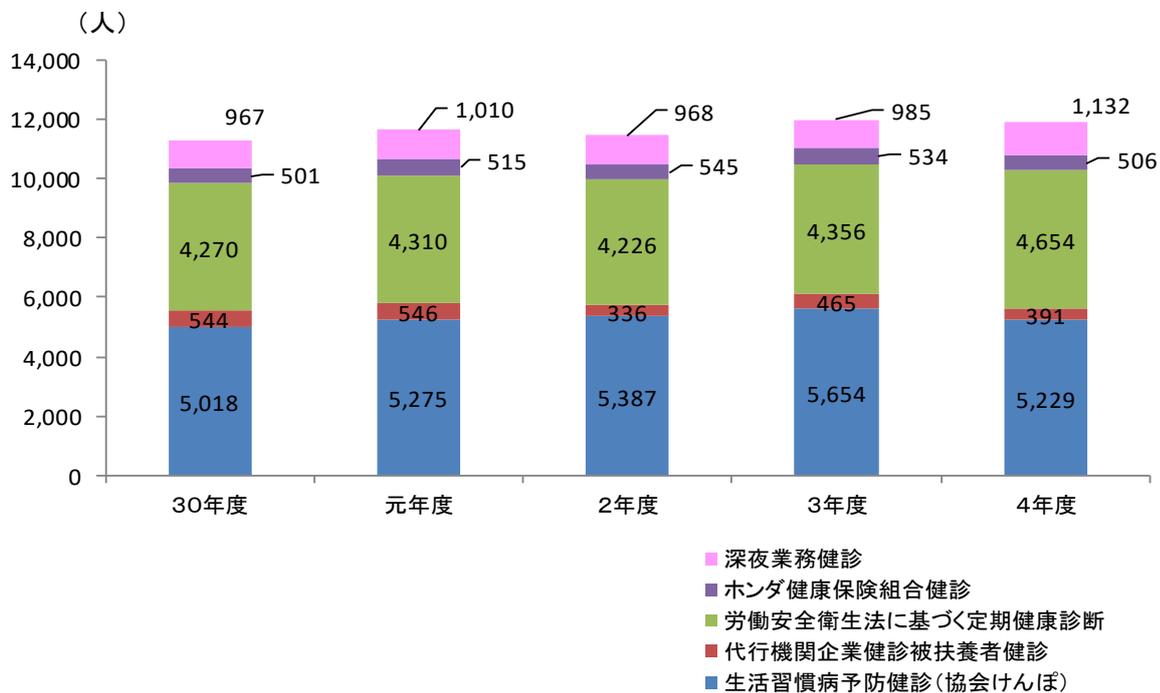


図2.胃がん検診受診状況



	3年度	4年度	対前年比
胃バリウム受診者数(人)	3,319	3,041	△ 278
胃内視鏡受診者数(人)	571	601	30
胃がん検診未受診者数(人)	2,009	2,095	86
胃検診未受診率(%)	34.1	36.5	2
総数(人)	5,899	5,737	△ 162

- 胃バリウム受診者数
- 胃内視鏡受診者数
- 胃がん検診未受診者数

4. 協会けんぽ肝炎ウイルス検査

協会けんぽ肝炎ウイルス検査の受診者数は、健診・人間ドックともに増加傾向にある。これは、一部企業の健診・人間ドック受診が増えたためと考えられる。

表1.年度及び年齢別受診者数

(人)

年齢	2年度			3年度			4年度		
	健診	人間ドック	二次健診	健診	人間ドック	二次健診	健診	人間ドック	二次健診
35-39歳	2	10	3	5	11	4	2	13	3
40-44歳	3	14	1	13	13	1	12	16	2
45-49歳	1	25	1	5	25	1	5	19	2
50-54歳	0	18	1	9	31	1	8	23	2
55-59歳	2	23	1	4	18	2	7	24	2
60-64歳	2	32	2	6	30	1	6	37	2
65-69歳	2	22	0	1	25	2	2	24	2
70-74歳	0	11	1	2	15	0	7	17	0
75歳 (当日74歳)	0	0	0	0	1	0	0	1	0
小計	12	155	10	45	169	12	49	174	15
合計	177			226			238		

5. その他の人間ドック

今年度は、事業所の中で受診者が増えたことに伴いライトコースが増加傾向にある。

図1. コース別受診者数

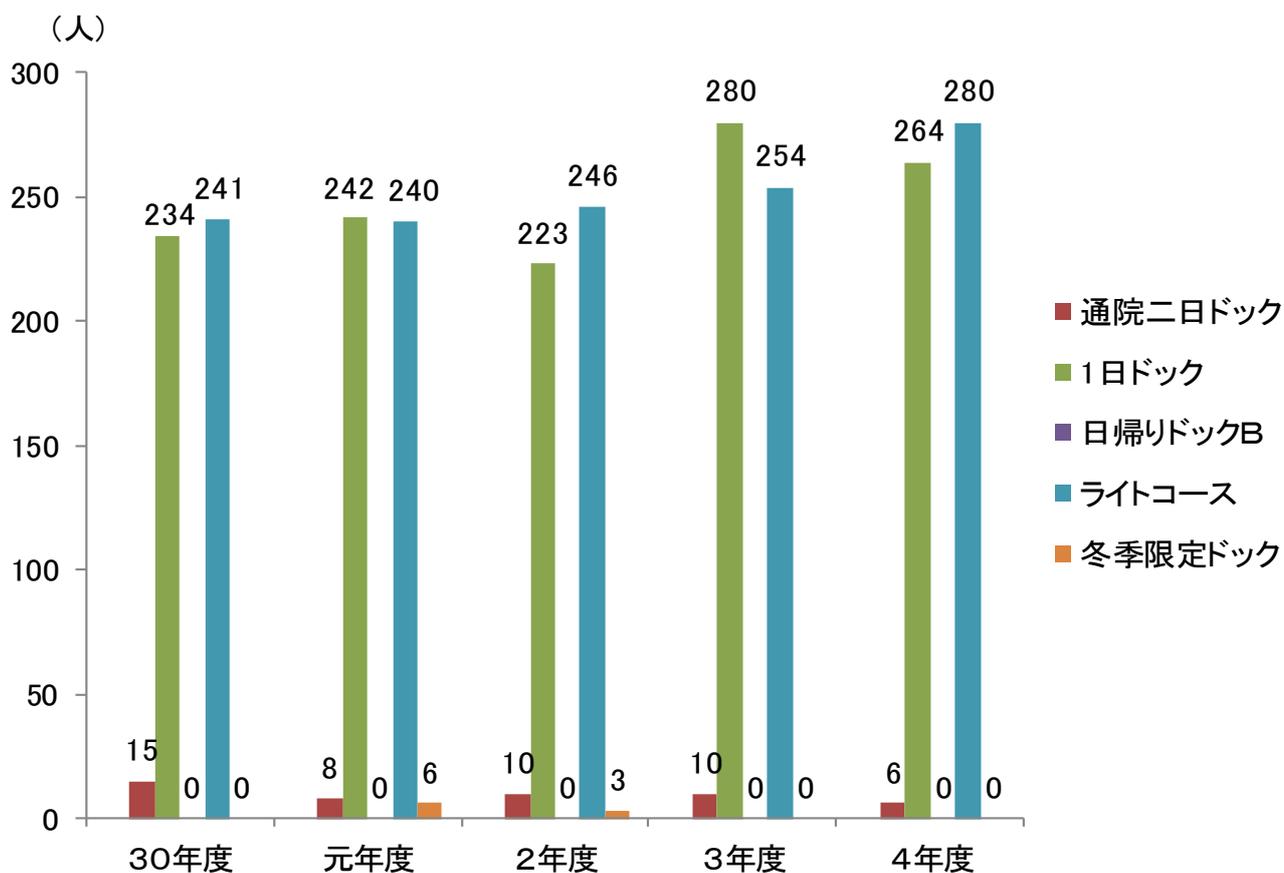


表1. 各種人間ドック年度別受診者数

(人)

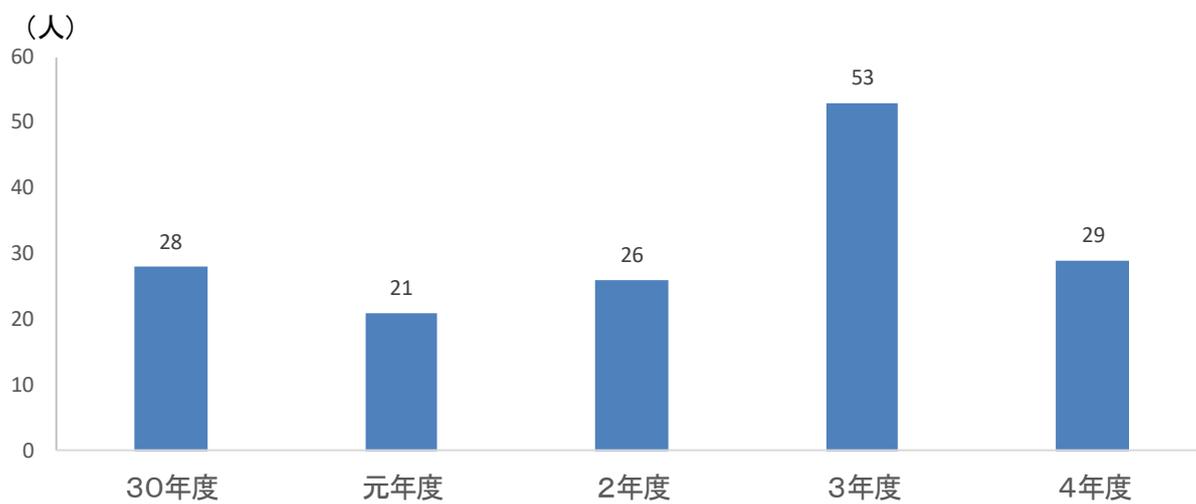
	通院二日ドック	日帰りドック			冬季限定ドック
		1日ドック	ドックB	ライトコース	
30年度	15	234	0	241	0
元年度	8	242	0	240	6
2年度	10	223	0	246	3
3年度	10	280	0	254	0
4年度	6	264	0	280	0

6. 過重労働健診

1) 年度別受診者数

年度別受診者数は令和元年度より増加傾向にある。新型コロナウイルス感染症の影響に伴う一時的な業務量の低下が通常の業務体系に戻ってきていると考えられる。

図1. 年度別 受診者数



2) 健診判定区分内訳

過重労働健診での医師との面談の結果、就業制限(時間外労働の制限等)など必要な就業措置が出されている。労働者の健康維持や労働災害の予防のためにも、企業や企業担当者に対して過重労働健診の受診を勧めるとともに、事後措置が適切に取られるよう促していきたい。

表1. 健診判定区分内訳

診断区分	(人)		
	異常なし	要観察	要医療
就業区分	17	11	1
指導区分	26	2	1
	28	0	1

7. ストレスチェック

労働者のストレスの状況について検査(問診)を行い、本人のストレスの自覚を促し、対処法の提案や、集団分析を行うことで、職場環境の改善につなげることを目的としている。

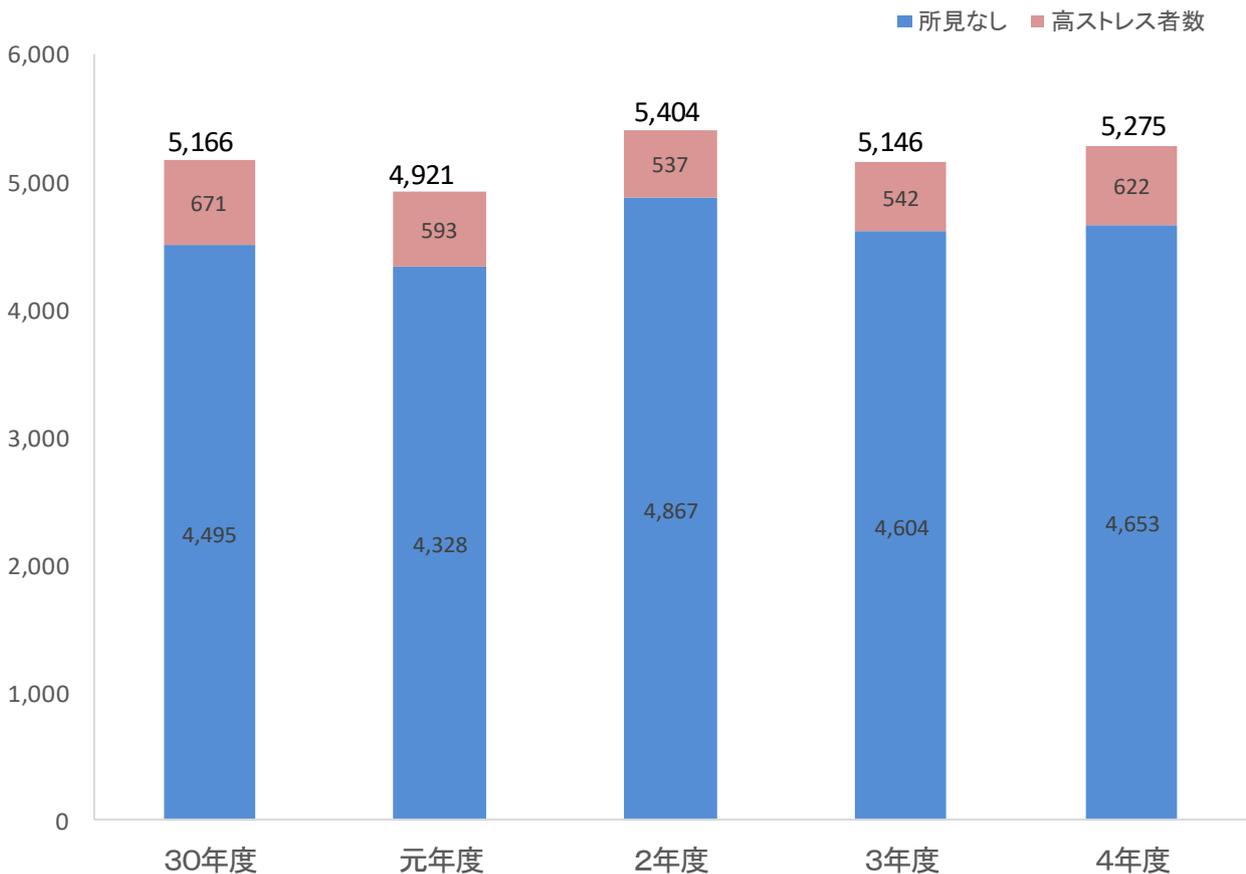
昨年度よりも高ストレス者数の割合は増加している。

表1.受診者数と高ストレス者数

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	対前年比
ストレスチェック受診者数(人)	5,166	4,921	5,404	5,146	5,275	129
高ストレス者数(人)	671	593	537	542	622	80
高ストレス者の割合(%)	13.0	12.1	9.9	10.5	11.8	1.3

図1.年度別受診者数と高ストレス者数

(人)



Ⅱ. 保健指導

1. 菊池市

1) 特定保健指導

令和2年度以降高い実施率を維持できている。健診日当日実施や後日実施の手紙・電話による呼びかけによるものと思われる。また、メタボリックシンドローム判定においても該当者及び予備軍該当者数の減少及び非該当者数の増加が見られ、特定保健指導の効果も影響していると考えられる。

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
対象者総数(人)	196	361	249	346	309
実施者総数(人)	134	230	242	319	284
実施率(%)	68.4	63.7	97.2	92.2	91.9

コース	階層化判定	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
特定健診	積極的	対象者数(人)	34	80	79	123	90
		受診者数(人)	34	72	76	112	81
		実施率(%)	100.0	90.0	96.2	91.1	90.0
	動機付け	対象者数(人)	129	231	164	212	202
		受診者数(人)	76	126	161	196	187
		実施率(%)	58.9	54.5	98.2	92.5	92.6
人間ドック	積極的	対象者数(人)	6	1	1	4	8
		受診者数(人)	5	1	1	4	8
		実施率(%)	83.3	100.0	100.0	100.0	100.0
	動機付け	対象者数(人)	9	10	5	7	9
		受診者数(人)	8	10	4	7	8
		実施率(%)	88.9	100.0	80.0	100.0	88.9
メタボリック シンドローム 判定	該当者数(人)	386	407	360	470	415	
	予備軍該当者数(人)	242	235	163	250	199	
	非該当者数(人)	1,533	1,466	1,104	1,148	1,382	

※平成30年度と元年度は、厚生連ドック及び他機関での健診受診者の保健指導委託事業による保健指導対象者・実施者も含む

図1. 特定健診の特定保健指導 実施率年度推移

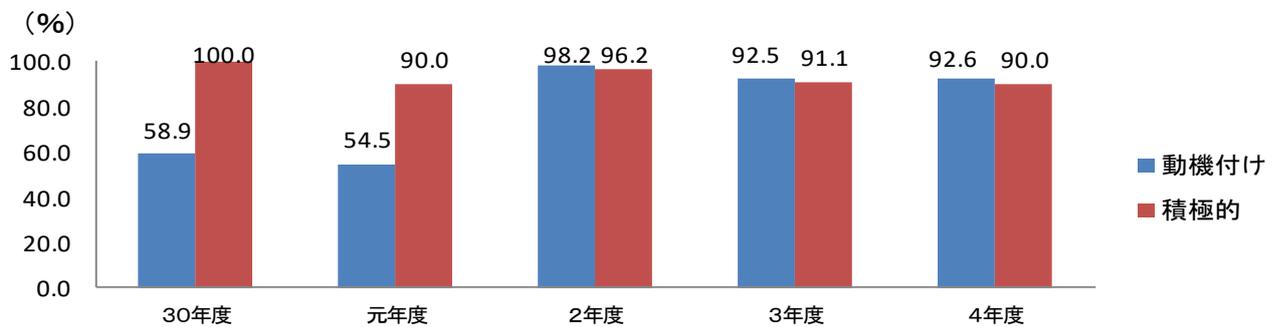
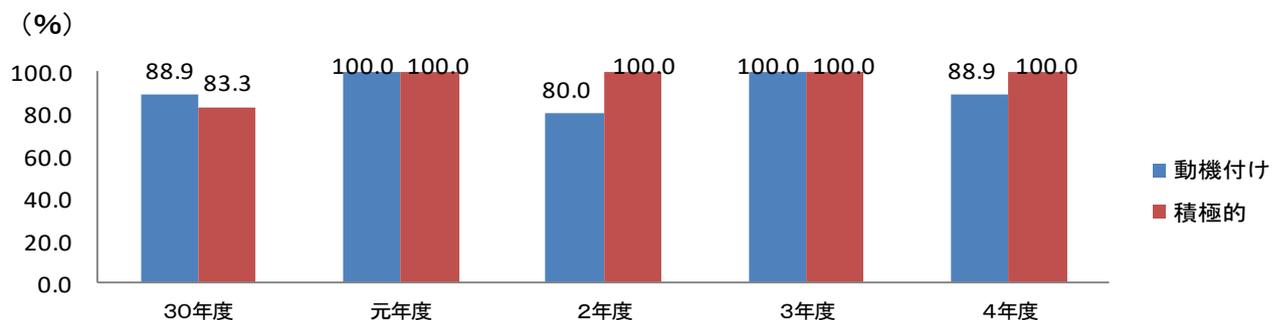


図2. 人間ドックの特定保健指導 実施率年度推移

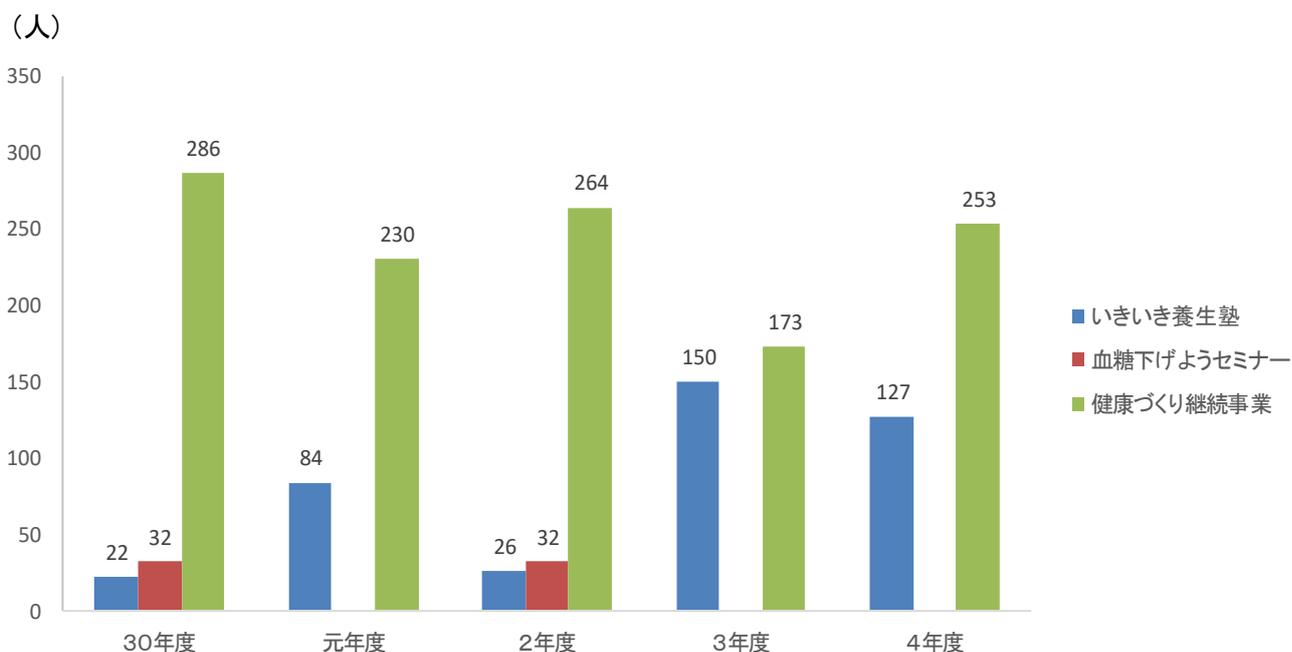


2) 健康づくり支援事業

新型コロナウイルス感染症予防のため、「接触を控える」「飛沫を避ける」「距離をとる」などの対策をとって実施した。いきいき養生塾では、常時換気、消毒を徹底し、1回の参加人数を10～15人と以前よりも減らすことで密を避けた。健康づくり継続支援事業では、各地域で毎年開催している公民館等での出前講座は減少したが、YouTubeによる健康情報やエクササイズの様子をまとめた動画の配信やLINEのオープンチャットなどオンラインを活用することによって、コロナ禍でも取り組むことができる健康づくりの機会を提供することができた。

教室名	事業目的	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
いきいき養生塾	メタリックシンドロームや糖尿病などの生活習慣病、転倒骨折を予防する、基本的な知識や方法の習得を目指す。	22	84	26	150	127
血糖下げようセミナー	糖尿病の予防と改善	32		32		
健康づくり継続事業	健康づくりに繋がる運動や食事の取り組みの継続や、地域の自主的な健康づくりコミュニティの形成を目指す。	286	230	264	173	253
合計		340	314	322	323	380

図1. 参加者数年度推移



3)その他

菊池市の個人、団体からの依頼で実施した健康づくり事業の実施人数を記載する。

(人)

		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
地域出前講座(生活習慣予防・認知症予防・食育講座・健康料理教室等)		23	48	0	150	95
菊池市生涯学習健康教室講座(体操教室)		10	16	10	14	
七城温泉ドームわくわく健康セミナー	健康相談等	35	82			
	健康メニュー提供と講話	84	123			
水源交流館宅配弁当分析およびアドバイザー	弁当分析※	3	3	1	2	2
合計		155	272	11	166	97

※ 弁当分析は実施回数

2. 合志市

1) 特定保健指導

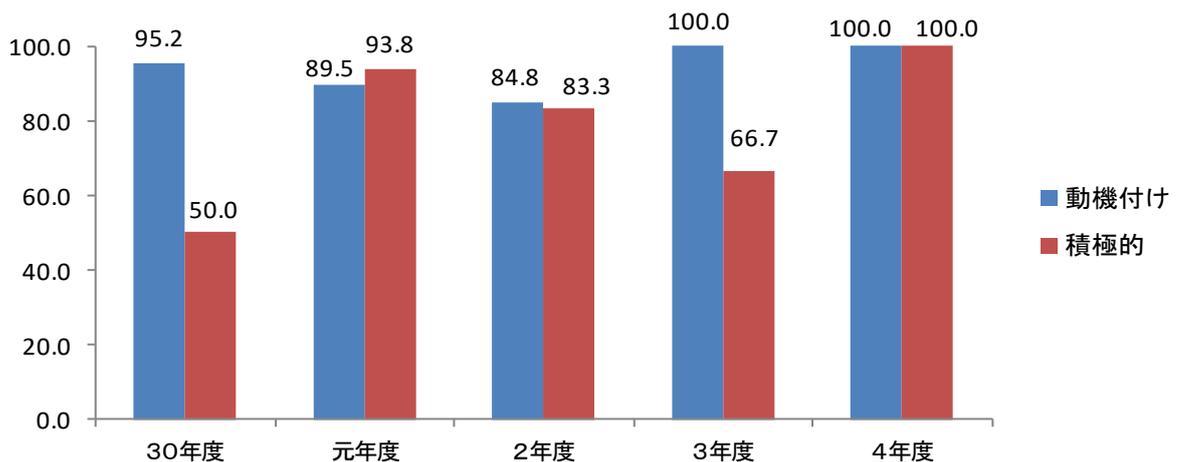
<人間ドック>

今年度も高い実施率を達成できており、これは当日実施によるものだと考えられる。

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
特定保健指導 対象者総数(人)	25	35	39	32	25
特定保健指導 実施者総数(人)	22	32	33	30	25
特定保健指導 実施率(%)	88.0	91.4	84.6	93.8	100.0

		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
積極的	対象者数(人)	4	16	6	6	6
	実施者数(人)	2	15	5	4	6
	実施率(%)	50.0	93.8	83.3	66.7	100.0
動機付け	対象者数(人)	21	19	33	26	19
	実施者数(人)	20	17	28	26	19
	実施率(%)	95.2	89.5	84.8	100.0	100.0
メタボリックシンドローム判定	該当者数(人)	41	53	49	51	53
	予備軍該当者数(人)	25	23	27	24	20
	非該当者数(人)	159	161	149	148	130

図1. 人間ドックの特定保健指導 実施率年度推移 (%)



2) ウェルネスシティこうし

10～12月に子育て世代リフレッシュ健診を実施した。

実施年度	教室名	内容	回数	期間	クール	参加人数
30年度	ウェルカム元気の森 ^{※1}	健康情報提供	4	-	-	102
	子育てママリフレッシュ健診	健康情報提供	2	-	2	14
元年度	ウェルカム元気の森 ^{※1}	健康情報提供	3	-	-	84
	子育てママリフレッシュ健診	健康情報提供	2	-	-	20
2年度	子育てママリフレッシュ健診	健康情報提供	新型コロナウイルス感染症拡大に配慮し中止			
3年度	子育てママリフレッシュ健診	健康情報提供	新型コロナウイルス感染症拡大に配慮し中止			
4年度	子育て世代リフレッシュ健診 ^{※2}	健康情報提供	3	-	-	12

※1 自由参加にて、推定人数。

※2 令和4年度より、「子育てママリフレッシュ健診」から名称を変更。

3) その他

例年、市からの委託にて健診後のフォローとして医療機関への受診勧奨や日常生活の注意などを目的に実施しているが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で委託は無かった。

(人)

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
後期高齢者 結果説明会	40	44	-	-	-

3. 協会けんぽ

1) 特定保健指導

高い実施率を維持できており、これは当日実施による効果が大いと思われる。
 メタボリックシンドローム判定の該当者数及び予備軍該当者数の割合も微減しており、
 今後も事例検討や研修等への参加などによって指導効果の向上を図りたい。

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
対象者総数(人)	913	1,005	1,031	1,026	988
実施者総数(人)	644	802	857	900	853
実施率(%)	70.5	79.8	83.1	87.7	86.3

		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
積極的	対象者数(人)	603	653	667	674	655
	実施者数(人)	417	485	528	553	527
	実施率(%)	69.2	74.3	79.2	82.0	80.5
動機付け (動機付け支援相当含む)	対象者数(人)	310	352	364	352	333
	実施者数(人)	227	317	329	347	326
	実施率(%)	73.2	90.1	90.4	98.6	97.9
メタボリックシンドローム 判定	該当者数(人)	826	896	961	993	955
	予備軍該当者数(人)	483	518	579	609	568
	非該当者数	2,818	3,032	3,054	3,079	3,004

図1. 協会けんぽの特定保健指導 実施率年度推移

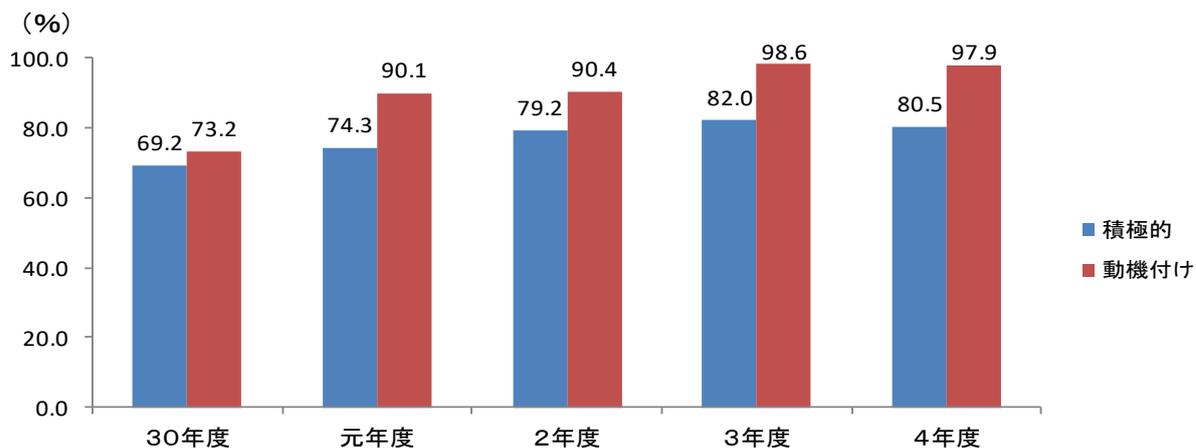
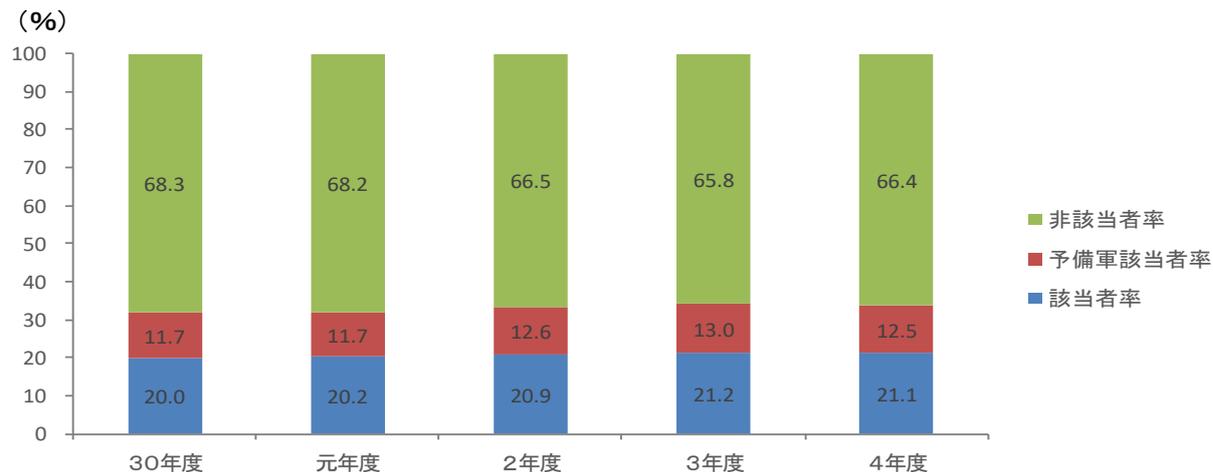


図2. メタボリックシンドローム判定 年度推移



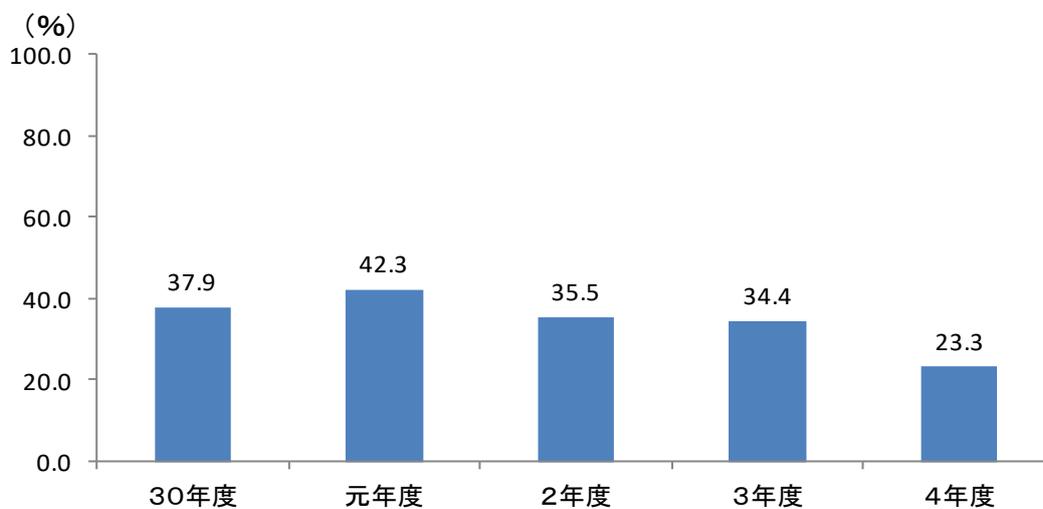
2) 血液検査等検査(特定保健指導二次健診)

実施率は年々低下傾向である。理由としては、リピーターの方の増加や精密検査受診率の向上により、二次健診の必要性を感じる人が減っていることなどが考えられる。

対象者ができるだけ二次健診を受診して生活習慣改善の重要性を理解してもらうためにも、指導方法の見直しを行い、初回指導時に二次健診の必要性をよりの確に伝える必要がある。

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
対象者総数(人)	700	784	857	866	1,023
実施者総数(人)	265	332	304	298	238
実施率(%)	37.9	42.3	35.5	34.4	23.3

図1. 血液検査等検査 実施率年度推移



4. その他

1) 企業の健康教室

社員の生活習慣病発症を予防し、定年まで元気に仕事が続けられることを目的とした健康セミナーを特定保健指導対象者中心に1社で実施をしている。

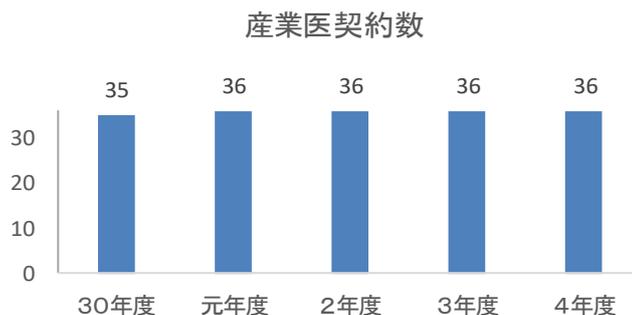
今年度は12月に特定保健指導の動機づけ支援の対象者にて初回面接を兼ねたグループセミナーを2回実施した。

日程	テーマ	人数
12月5日	ボディメンテナンスで体を整えよう	8
12月20日	ボディメンテナンスで体を整えよう	12

2) 産業医活動

産業医として3名の医師が職場巡視や健康相談、労働安全衛生委員会への出席などを行っている。産業医契約を行っている事業所は36事業所であり、立地的な面から菊池市や合志市が多い。契約事業所の追加や契約終了等はあるが、事業所数の大きな変化はない。

- ①菊池市 … 16事業所
- ②合志市 … 10事業所
- ③菊陽町 … 3事業所
- ④大津町 … 2事業所
- ⑤熊本市 … 4事業所
- ⑥三重県 … 1事業所



3) 過重労働健康相談

働く人の心の健康の保持増進を目的として、依頼のあった企業の過重労働者(月60時間以上)に対して保健師が健康相談を行っている。主に、勤務状況の把握や心身の状態について聞き取り、就業に問題がないかどうかを確認している。

表1. 過重労働健康相談実施者数

受診者数	(人)				
	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	9	1	1	37	25

Ⅲ. 二次検診

1. 労災二次検診

受診者数は前年度より増加している。また、精密受診率は昨年と比較してやや上昇しており、引き続き受診勧奨を行っていく。

表1. 労災二次検診受診者数 (人)

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
受診者数	82	92	103	94	109

表2. 要精密・要治療者 医療機関受診率

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
紹介状発行(人)	39	21	30	30	28
精密受診者(人)	18	12	15	16	16
精密受診率(%)	46.2	57.1	50.0	53.3	57.1

2. 菊池市・合志市二次検診

菊池市では、糖尿病が重症化するリスクの高い未治療者(HbA1c6.5%以上)を適切な受診勧奨によって医療に結び付けると共に、医療機関と連携した保健指導等により、人工透析への移行を防止することを目的として微量アルブミン尿検査を実施している。

合志市では、腎症を早期発見するために微量アルブミン検査、動脈硬化の進行を調べる目的として希望者に対し頸動脈エコー検査を実施している。

表1. 二次検診受診者数推移 (人)

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
菊池市	0	6	1	3	12
合志市	3	5	11	11	7

IV. 外来

1. 外来受診者数の推移

令和元年度から外来診療時間を変更し、月～木曜日は10時～12時・14時～17時、金曜日は10時～12時までとしている。また、診療上の都合により午前の診療は受付25番まで、26番以降は午後2時以降の診療とした。

今年度は、新患再診ともに昨年度より減少した。9月の長期休診により患者数が一時的に減少したが、その分前後の8月と10月は昨年より再診者数が多くなっている。新患者は一年を通して減少し、昨年度と比較すると90名ほど下回っている。

また、月別の受診者数を比較すると、休診した9月以外は大きな変動はなく、一月あたり平均450人受診している。12月は企業健診で要検査になった方の受診が多く見られ、3月は健康診断が多くみられた。

図1. 外来患者数の推移（健康診断除く）

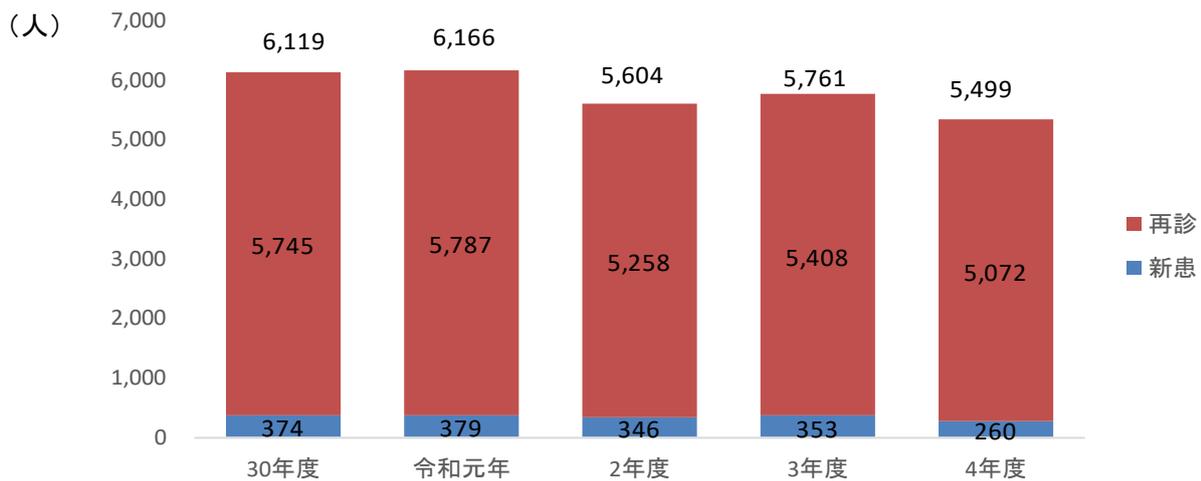
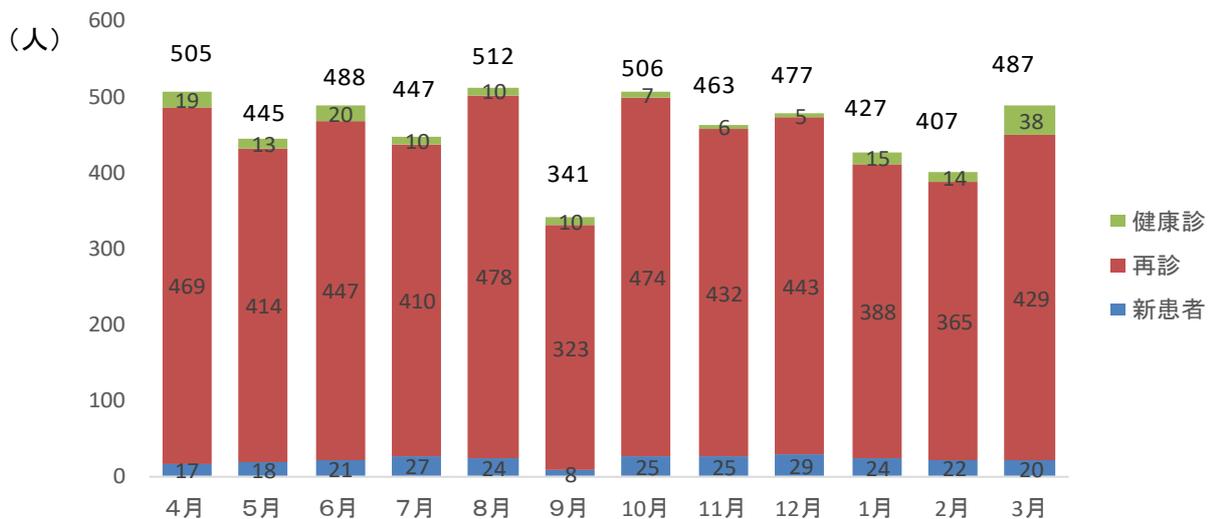


図2. 月別外来患者数



2. 禁煙外来

新型コロナウイルス感染症による影響で、令和2年1月14日から禁煙外来を中止していた。今年度より再開の見通しだったがチャンピックスの出荷停止により保留となった。希望者には禁煙相談窓口のみの対応となっている。

表1. 禁煙外来の年度別受診者数 (人)

30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
7	6	11	1	0

3. 栄養指導・外来検査

検査はおおむね増加している。特に胸部CTは前年度に比べ約2倍の件数となっている。栄養指導の減少は新患者の減少に伴うものと考えられる。

表1. 指導・検査別実施件数 (件)

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
栄養指導	78	96	46	19	16
胃内視鏡検査	41	25	19	10	21
ピロリ菌抗体検査	15	35	11	6	12
ピロリ菌呼気テスト	12	17	13	10	12
腹部超音波検査	111	136	114	101	149
心臓超音波検査	110	113	90	75	115
乳腺超音波検査	3	5	8	3	3
甲状腺超音波検査	8	6	6	6	12
頸動脈超音波検査	39	39	31	27	51
表皮超音波検査	0	0	4	0	5
下肢血管超音波検査	0	0	2	0	0
胸部レントゲン検査	125	152	110	82	92
頭部CT検査	34	37	29	20	35
胸部CT検査	28	44	32	45	107
心電図検査	100	93	71	67	105
負荷心電図検査	3	4	4	4	2
骨密度検査	4	6	6	3	2
血圧脈波(ABI)検査	50	38	27	22	35
MMSE検査	22	22	18	16	21

4. その他（結核精密検査、各種ワクチン接種）

菊池市、合志市及び熊本県からの委託で、教職員及び生徒の結核検診における精密検査対象者の二次検診を行っている。検査内容は、市の教職員は結核菌特異的インターフェロン γ 生産能(T-SPOT)検査及び胸部レントゲン検査、県の教職員は胸部レントゲン検査及び必要者には喀痰検査、生徒には胸部レントゲン検査を実施している。その他熊本県からの委託で、結核健康診断精密検査受診券を交付された方に対し、指定された検査を実施している。

表1. 結核検診精密検査年度別受診者数 (人)

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
菊池市・合志市教職員(レントゲン・T-SPOT)	1	0	9	10	9
県教職員(レントゲン・喀痰等)	0	0	3	6	4
生徒(レントゲン)	0	0	2	1	3
その他(県委託分)	0	0	0	1	3

各種ワクチン接種(肺炎球菌ワクチン、MRワクチンなど)も行っており、市町村の補助による肺炎球菌ワクチン接種数について、下表に示す。

表2. 肺炎球菌ワクチン接種者数 (人)

30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
62	21	19	11	10

V. その他

1. インフルエンザ予防接種

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されるなかで、インフルエンザの発症をできるだけ減らすという観点から、4価ワクチン変更後、ワクチン供給量が最大となり供給も早まった。また、厚生労働省や各自治体などからインフルエンザ予防接種の啓発及び呼び掛けがなされており、10月初旬から施設内、施設外ともに接種事業が行われたため前年度に比べ接種者数は増加した。しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延で感染対策の強化の為、インフルエンザワクチン接種の需要が減り施設外接種者が2年度と比較して2,000人台に減少したと考えられる。さらに今年度も原則外来での接種を控えたために減少傾向になった。新型インフルエンザワクチンの供給については安定しており、予約者に対して必要な分を投与することができた。

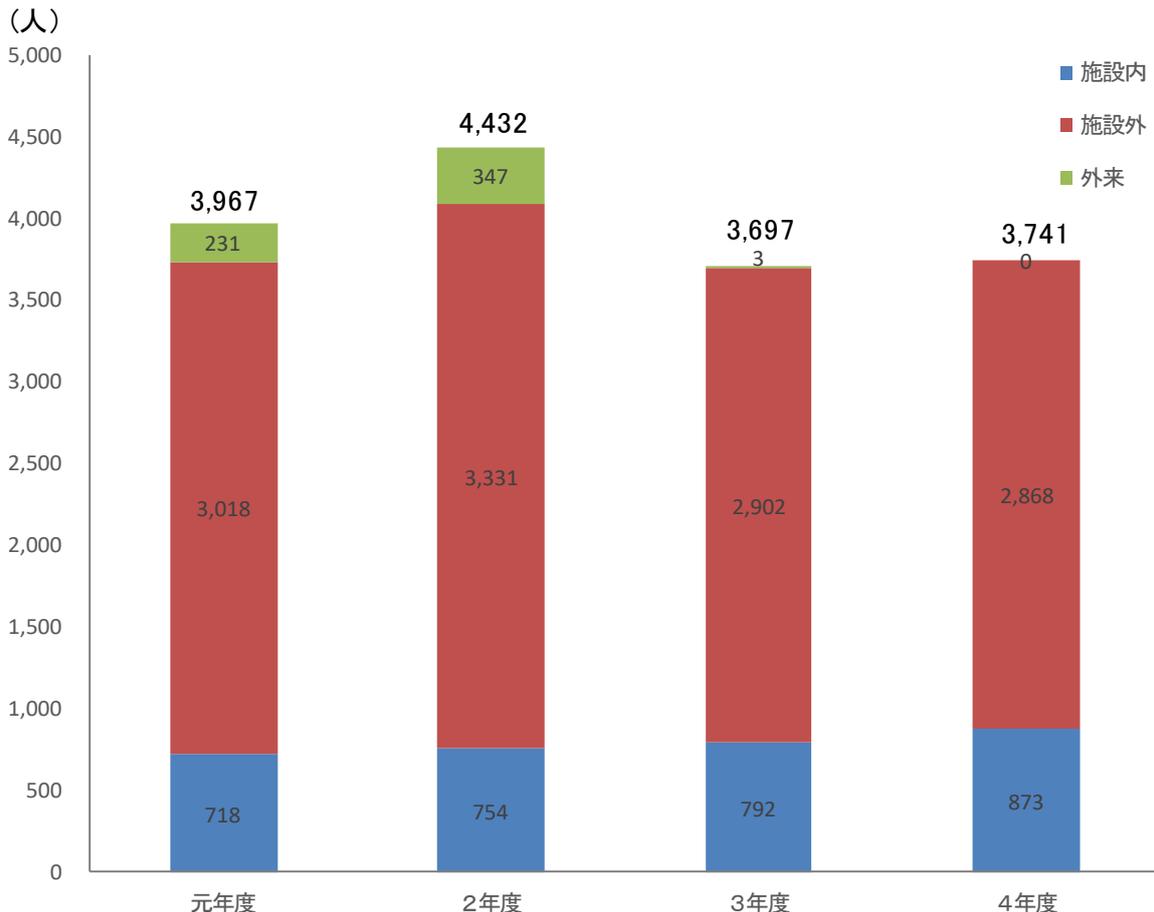
表1. インフルエンザワクチン接種者数 年度月別内訳

	10月			11月			12月			合計
	施設内	施設外	外来	施設内	施設外	外来	施設内	施設外	外来	
元年度	196	336	66	368	2,432	118	154	250	47	3,967
2年度	265	799	175	378	2,058	162	111	474	10	4,432
3年度	211	472	0	380	1,541	0	201	889	3	3,697
4年度	250	747	0	424	1,565	0	199	556	0	3,741

* 施設内…人間ドック、企業、住民の予約接種者

* 施設外…外勤(企業へ出向いてワクチン接種実施)の予約接種者

図1. インフルエンザワクチン接種者 年度別総接種者数



2. 新型コロナワクチン

新型コロナウイルス感染症の流行により、昨年度から引き続き新型コロナワクチン接種を実施した。昨年度同様の実施体制としたが、休日接種は行っていない。

表1. 新型コロナワクチン接種者数 月別内訳

(人)

	菊池市		合志市		その他		合計
	医療従事者	住民	医療従事者	住民	医療従事者	住民	
4月	-	26	-	1	-	2	29
5月	-	-	-	-	-	-	0
6月	-	-	-	-	-	-	0
7月	-	259	-	3	-	1	263
8月	-	93	-	0	-	0	93
9月	-	5	-	3	-	5	13
10月	-	-	-	-	-	-	0
11月	-	268	-	0	-	1	269
12月	-	257	-	6	-	7	270
1月	-	18	-	0	-	0	18
2月	-	-	-	-	-	-	0
3月	-	-	-	-	-	-	0
合計	0	926	0	13	0	16	955

※その他…熊本市等の菊池市・合志市以外の市町。